

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(泉小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校の実態や児童の様子を知り、各々の役割を理解し、それぞれの専門性を生かしながら学校を支援しよう。
- 承認した学校運営の基本方針を、学校運営協議会からも発信・周知し、学校教育目標の具現化に向けた学校支援活動を充実させよう。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長による説明を受け、学校教育目標「一人一人が輝く楽しい学校」の実現のためにキャリア教育を核として教育活動を進めていくことについて行った熟議では、委員が率直に意見を述べることができ、共通理解することができた。
- 「人とあたたかくかかわる子」の育成に重点を置き、学校経営目標である「一人一人にとことん寄り添う」を実践することがいじめ問題の解決にもつながるという方向性を共有することができた。
- 学校経営目標についての熟議を通して「一人一人にとことん寄り添う」ためには、学校と地域の連携が不可欠であることを協議会全体で認識することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- いじめ問題解決への取組や個別登校の試行について、それぞれの立場から意見を出し合っ
て熟議を進めることができ、共有・理解につなげることができた。出された意見を基に
した取組を学校が進めてほしいと思う。学校運営協議会も支援ができるように、さらに熟
議を深めていきたいと思う。
- 挨拶運動について学校と地域が一体となって進め、「共創」の一つとして定着してき
た。その一方で、回数を重ねると始めたころのような勢いがなく、形骸化している部分も
やや感じられる。
- 学校からのニーズに対応できるように、支援人材の輪の広げ方について考えていきたく
いと思う。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 挨拶運動に関しては、児童が作成したポスターを町内に掲示したり、挨拶運動実施お知
らせの文書を回覧板や自治会のホームページや役員会の場を利活用したりして、情報発信
を充実させることができた。さらなる効果的な発信方法の検討も必要である。
- 協議内容について学校HPでアップしているが、学校と地域が一体となって風通しのよ
い学校運営を可能にするには、一般に広く周知する方法を検討する必要がある。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 「一人一人が輝く楽しい学校」「子供が楽しく通える学校」「安心・安全で保護者や地
域に信頼される学校」の実現に向けて、地域と学校が一体となって子供を育てよう。
- 学校や児童の実態や課題を知り、学校教育目標の具現化に向けて積極的に協議し、広く
地域に発信しよう。